

砕砂の時代

全国的に天然砂の枯渇が話題になつてきている。良質の天然砂は将来、石油や石炭のようない資源並みの高い付加価値を認められる時が到来すると思ふ。

建設投資がいかに減少しようとも、全くなくなることはない以上、安定した細骨材の供給が課題となるであろう。

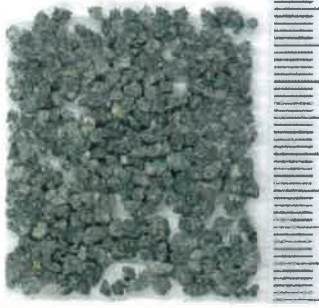
そこで人工砂の登場である。人工砂には岩石を破砕、分級して製造される「砕砂」と、廃棄物等を溶解して冷却、固結した「スラグ」等がある。

工業製品としての人工砂の強みは、バラツキを人為的に制御できることである。

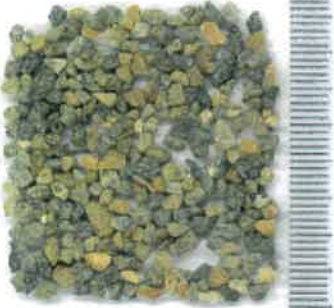
砕砂の場合、粒の大きさ(粒径)、粒のそろい具合(粒度)、粒の形(粒形)それらに伴う二次的品質として単位容積質量、実績率等については工区内で作り込める品質である。

当社は昭和七年より砕砂の製造を開始し、現在ボールドミルを主破砕機とした湿式水洗プラントにより三種の粒度の砕砂を生産している。

今までの知識、経験を生かし、新たな気持ちで研究していこうと考えている。



(株) フクダニユース 砕砂 (2.5mm~1.2mm)



E社 自然砂 ((2.5mm~1.2mm))

いざ岩洞湖へ!

月曜日の弁当は『おかずを持ってこない』
・・・と、いう仲間のエールを背に、こちらを2時半に出発し途中で知人と合流して、総勢5名でのワカサギ釣りに行ってきました。遅刻者がいないどころか、全員30分前に集合するという大変な気合の入れようで、高まる気持ちを抑えきれず、やがて訪れる『悪夢』を誰一人予想する事は出来ませんでした。

悪夢その1・・・

朝5時前に穴を開け、釣竿を垂らそうとしたら両隣から「餌がつけられね〜」という不吉な声・・・二人とも老眼が始まっているらしく針先が見えないらしい。加えて餌は小さいし、針は7本も付いているので大変な作業である。全部付け終える頃には指先の感覚がなくなっていた。



悪夢その2・・・

意気込みとは裏腹に、朝5時から正午までの7時間で全員で合わせて32匹という散々な結果となってしまい、帰り道が非常に長く感じた。

PS

後で調べたらポイントから離れた所で釣ってました。気持ちも大事ですが、何事も下準備が大切だとつくづく思いました。

まあ・・・その甲斐あって次の日はこのネタで盛上がった事がせめてもの救いです!

十年一昔 〳 次の十年へ

ある経済講演会で、失われた十年の話から「十年で変わった?」と、問われ「うん、十年前のことと比べて、現在のと比較する鮮明な材料がないのだ。東南アジアでは、後ろを振り返る向く暇もない位のスピードで変化する。もうな変ることの善悪は別として、膨らんでくる。エネクルガーが、雪ダルマ式に膨らんでくる。ビットバナーが、状態の膨らんでくる。白髪が増えただけで、十年で基礎力へ進む道程を見据え、歩いていく。いける確



編集後記

今年、ホントに雪の少ない過ごしやすい冬でしたね。嬉しいけれどやっぱり冬は冬でなければいけないような気がしました。近所のおじさんが、何年か前にお米が取れなかった前の冬がこのような冬だったと言っていました。ちょっと不安になったりして・・・

伊豆の河津桜も例年より2週間程早く満開だとうで、友達から写メールが来てびっくり! 岩手だけじゃなく全国的にいつもと違う冬だったのだと・・・一足先に皆さんに桜を・・・()